



CCSBT-EC/2110/12

## Draft Agenda for ERSWG 14 ERSWG 14 の議題案

### Introduction

#### 序論

The Fourteenth Meeting of the Ecologically Related Species Working Group (ERSWG 14) was originally provisionally planned to be held in early 2021. During May 2020, it was agreed that ERSWG 14 would be postponed to February/March 2022 due to the COVID-19 pandemic (Circular #2020/047).

第14回生態学的関連種作業部会（ERSWG 14）会合は、当初は2021年初頭に開催される予定であった。しかしながら、COVID-19パンデミックの影響により、2020年5月に同会合を2022年2月/3月に延期することが合意された（回章#2020/047）。

Circular #2021/027 announced that the agreed tentative dates for the 2022 ERSWG meeting are 21-25 March 2022. These dates are for a virtual ERSWG meeting, which seems more likely than a physical meeting. The draft budget for 2022 also assumes that the 2022 ERSWG meeting will be a virtual meeting. If it is decided that a physical ERSWG meeting can be held, the meeting would be held from 22-25 March 2022.

回章#2021/027では、2022年ERSWG会合について合意された暫定的な日程は2022年3月21-25日であることを通知した。これらの会議日程は、対面会合よりも可能性が高いと思われるバーチャル会合を前提としたものである。また、2022年予算案でも、2022年のERSWG会合はバーチャル会合となることを想定している。仮に対面によるERSWG会合が開催可能となった場合には、会合日程は2022年3月22-25日となる。

A Draft Annotated Agenda for ERSWG 14 is attached for Members' consideration.

メンバーによる検討のため、ERSWG 14の注釈付き議題案を添付した。

At CCSBT 27, the Extended Commission agreed that when it considers the agenda for the 2022 ERSWG meeting, it would discuss whether to include ERS issues raised in the pre-meeting documents prepared for the meetings of the CC and EC including the following topics that were suggested by NGOs:

CCSBT 27において、拡大委員会は、2022年のERSWG会合の議題を検討する際、CC及びEC会合に向けた事前協議文書の中で提起されたERS関連の課題（NGOが提案した以下のトピックを含む）を議題に含めるかどうかについて検討することに合意した。

1. Consideration of the recommendations from the December 2019 meeting of the joint tuna RFMO by-catch working group meeting for any required action by the CCSBT;  
2019年12月に開催されたたまぐろ類RFMO合同混獲作業部会による勧告のうちCCSBTによる行動が必要とされる勧告にかかる検討

2. Consideration of what implications there may be for interpreting catch of ERS species due to the CPUE alternative standardisation adopted at the ESC and what that means for ERS;  
and  
EC が代替的な CPUE 標準化手法を採択した場合に ERS 種の捕獲の解釈にどのような影響が及ぶ可能性があるのか、またこれが ERS に関してどのような意味を持つのかにかかる検討
3. Improvements to ERS reporting.  
ERS に関する報告に対する改善

Item “1” above is covered by agenda item 3. Item “2” has not been included because the ERSWG has not used standardised CPUE from the ESC. Item “3” is covered by agenda item 2.2.

上記の事項「1」は議題3で網羅されている。事項「2」については、ERSWGはESCによる標準化CPUEを利用していないので、議題に含めていない。事項「3」は議題項目2.2で網羅されている。

Members are invited to propose changes to the draft ERSWG 14 agenda.

メンバーは、ERSWG 14 の議題案に対する変更を提案するよう招請されている。



暫定議題  
第14回生態学的関連種作業部会会合  
2022年3月21-25日  
オンライン

1. 開会

- 1.1 議題の採択
- 1.2 文書リスト
- 1.3 ラポルツアーの任命

メンバーは、議題4-6にかかるラポルツアーを指名するよう要請されている。さらに、各文書の発表者に対しては、会合報告書に盛り込むことができるよう、自身が説明した文書（年次報告書は除く）にかかる簡潔なパラグラフを提供するよう要請される。

2. 年次報告書

メンバー及びCNMは、合意されている報告書テンプレートに従ってERSWGに対する年次報告書を作成し、これを提出する必要がある。報告書は、テンプレートの中で特定されている情報が全て記載されることが期待されている。ERSWG作業計画に従い、事務局はメンバーのデータを活用し、試行的にテンプレートの表1を作成する予定である。参加者は会合前に報告書を読了しているものと見なし、本議題項目は、報告書に関する明確化を行うための質疑応答に当てる。

2.1 メンバー

2.2 ERSWGデータ交換に関する事務局からの報告

事務局は、年次ERSWGデータ交換から得られたデータの概要を提供する予定である<sup>1</sup>。また、本議題項目では、データ交換のプロセス及び関連情報に関する変更点について検討する機会を提供する。

3. ERS作業部会に関連するその他機関の会合報告及び／又は結果

CCSBTのERSWG会合における長期的なオブザーバーの地位を有する全ての機関

([http://www.ccsbt.org/site/observers\\_attendance.php](http://www.ccsbt.org/site/observers_attendance.php)を参照)は、会合に参加し、及び会合に対する報告を行うよう招請されている。また、メンバー及びCNMは、ERSWG会合に参加していない機関に関連する報告を行うことができる。ERSWGは、これらの報告書の関連する勧告について検討する予定である。

4. ERSWG 13による作業計画の進捗状況のレビュー

ERSWG 13による作業計画は別紙Aのとおりである。ERSWGは、当該作業計画の進捗状況のレビューを行う。

<sup>1</sup> これらのデータを用いて独自の解析を行うことを希望するメンバーは、CCSBTウェブサイトの「General private area」のうち「ERSWG Data Exchange」セクションからこれらのデータを統合したエクセルシートを入手可能である。高度に集計した公開バージョンのデータは、[https://www.ccsbt.org/userfiles/file/data/ERSWG\\_Data.xlsx](https://www.ccsbt.org/userfiles/file/data/ERSWG_Data.xlsx)から入手可能である。

## 5. ERS に関する情報及び助言

この議題項目は、SBT 漁業によって生じる ERS へのリスク及び SBT の資源状況に対する ERS の効果に関する評価を進めるとともに、リスク削減のために必要と考えられるあらゆる措置に関する助言を行うための重要な議題項目である。メンバー、CNM 及びオブザーバーは、以下の議題項目に関して、会合前に文書を作成し、これを提出することが要請されている。

### 5.1 海鳥類

#### 5.1.1 資源状態に関する情報

事務局は、従来の指示に従い、ACAP 及びバードライフ・インターナショナルに対し、SBT 漁業において捕獲される可能性がある海鳥類に関する最新情報（個体群状態の概要及び混獲緩和措置のレビューを含む）を提供するよう要請する予定である。

#### 5.1.2 ERS の死亡数の推定及びこれに伴う不確実性

この議題項目では、海鳥の総死亡数を推定する手法について検討するとともに、メンバーが提出した死亡数の推定値についてレビューする機会を提供する。

#### 5.1.3 生態学的リスク評価

ERSWG 13 の作業計画では、ERSWG 14 に向けて、ニュージーランドがメンバーからの協力を得て、高リスク海域の特定にかかる作業と合わせて海鳥の生態学的リスク評価をアップデートするための作業を主導することとされている。ERSWG は、この作業の成果についてレビューを行う。

#### 5.1.4 混獲緩和措置の評価及び助言

本議題は、現行の混獲緩和措置に関するレビューを行うとともに、必要と考えられるあらゆる変更についての助言を行うための ERSWG の常設議題項目である。

#### 5.1.5 新たな 5 度区画別・四半期別データの活用

ERSWG 13 の作業計画では、ニュージーランドが、改訂された ERSWG データ交換を通じて提供された新たな 5 度区画別・四半期別データを海鳥混獲問題の解析に活用する方法について調査することとされている。

#### 5.1.6 海鳥の種同定

海鳥の種同定にかかる実務又は方法論に関する改善についてアップデートを行う。

#### 5.1.7 海鳥に関する複数年戦略

ERSWG 13 は、CCSBT の海鳥に関する複数年戦略の全体目標及び 5 つの個別目標を策定した。CCSBT 26 はこれらの目標を採択した。ERSWG 13 の作業計画では、ERSWG 14 に向けて、オーストラリアが全メンバーからの協力を得て、海鳥に関する複数年戦略の各個別目標の下に行う戦略的行動のリスト案の改訂版を作成することとされている。ERSWG は、戦略的行動案について検討する予定である。

### 5.2 さめ類

#### 5.2.1 資源状態に関する情報

メンバーは、CCSBT に関連するさめ種の資源状態に関する情報を提供すべきである。

#### 5.2.2 死亡数の推定及びこれに伴う不確実性

この議題項目では、さめの総死亡数を推定する手法について検討するとともに、メンバーから提出された死亡数の推定値についてレビューする機会を提供する。

### 5.3 その他の ERS

メンバー及びオブザーバーは、海亀類や海棲哺乳類といったその他の ERS 種に対する SBT 漁業の影響に関する情報を提示するよう奨励されている。

## 6. 普及啓発活動

本議題項目は、合意された混獲緩和措置が全面的に実施されるよう確保するための非常に重要な議題項目である。メンバーが実施した普及啓発活動については議題項目 2 の下でカバーされており、ここで議論する必要はない。この議題項目では、ERS に関する混獲緩和及び/又はデータ収集を強化するために CCSBT が実施すべき新たな活動について議論することを意図している。これには、CCSBT とバードライフ・インターナショナルが共同で策定してきた「CCSBT 漁業における生態学的関連種（海鳥）措置に関する教育及び実施の強化に関するプロジェクト提案」に関するアップデートが含まれる。

## 7. CCSBT パフォーマンス・レビューからの勧告の検討

CCSBT パフォーマンス・レビュー報告書は 2022 年 3 月 1 日に提出される予定である。ERSWG は、ERS 関連の勧告について検討し、EC に対して、これらの具体的な勧告に関する ERSWG としてのフィードバックを行う予定である。

## 8. 将来の作業計画

ERSWG は、これまでの議題項目において提起された課題と、必要と考えられる追加的な作業項目とを合わせて、最新の作業計画を策定する予定である。

## 9. その他の事項

## 10. ERS 問題に関する CCSBT 補助機関への検討の付託

この議題項目は、ERSWG が CCSBT の他の補助機関に対して特に付託すべきと考える事項に関するものである。

## 11. 拡大委員会に対する勧告及び助言

ERSWG は、これまでの議題項目の中で提起された中から、拡大委員会に対する勧告及び助言のリストを策定する予定である。

## 12. まとめ

### 12.1. 会合報告書の採択

### 12.2. 次回会合の時期に関する勧告

### 12.3. 閉会

## ERSWG 13 作業計画

(元々の作業計画に、各事項が ERSWG 14 会合のいずれの議題項目で検討されるのかを明示するための欄を追加した。特定の内容に関するより適切な議題が設定されていない限り、作業計画上の活動を検討するデフォルトの議題項目は「4」である)

活動	時期	リソース	ERSWG 14 での議題項目案
1. 「アウトリーチ／教育を通じた ERS 措置の実施の強化及び措置の遵守状況の検証」に関する提案を改善する	CC 14	バードライフ、事務局、メンバー	6
2. ERSWG 13 報告書が公開された時点で他のまぐろ類 RFMO にこれを提供する	2019 年 11 月	事務局	4
3. 一元的なポータル（例えば WCPFC がホストしている混獲緩和情報システム）を通じて、オブザーバー及び電子モニタリングに関する文書、フォーマット及び手続き、及び海鳥混獲データコレクションを共有する	2020 年 7 月	メンバー、事務局	4
4. 全ての死亡を含む（すなわち、投棄死亡と保持された商業漁獲を含む）形で修正した過去の EDE データを提供する	2020 年 7 月	オーストラリア、韓国	4
5. 新たな EDE テンプレートに従って 2019 年の EDE データを提供する。またメンバーは、同様のフォーマットに従って修正した過去のデータを自主的に提供することが奨励されている	2020 年 7 月	全メンバー	2.2
6. ACAP 海鳥種同定ガイドを主要言語（例えばインドネシア語、日本語、韓国語及び台湾語）に翻訳し、オブザーバーが混獲された海鳥類を種レベルまで同定することを支援するための海鳥混獲写真の参照ライブラリを設立する	2020 年 7 月	CCSBT 及び ACAP 事務局、インドネシア、韓国、日本及び台湾	5.1.6
7. 海鳥類を種レベルまで同定するための追加支援として、死亡した混獲海鳥類の写真撮影及び DNA サンプルングに関する ACAP ガイドラインをカスタマイズする。死亡した海鳥類の写真撮影及び DNA 解析のための羽サンプル収集にかかる ACAP ガイドは、改善された手続き及び手法に関するテンプレートを提供している	2020 年 12 月	CCSBT 及び ACAP 事務局	5.1.6
8. 改正 ERSWG 年次報告書テンプレートの表 1 について、各メンバーごとの表の作成を試行する	ERSWG 14	事務局、メンバー	2
9. 将来的に他のまぐろ類 RFMO に対して提供できるような、ERSWG 報告書の主要なポイントを総括するテンプレートを策定する	ERSWG 14	議長、事務局	4

活動	時期	リソース	ERSWG 14での議題項目案
10. 海鳥混獲に関する課題の解析について、修正された ERSWG データ交換で提供されることとなる新たな5度区画・四半期別データの活用方法について調査する	ERSWG 14	ニュージーランド	5.1.5
11. 高リスク海域の特定に関するアップデートとともに海鳥生態学的リスク評価をアップデートする	ERSWG 14	メンバーからの協力を得てニュージーランドが主導	5.1.3
12. 海鳥に関する複数年戦略における個別目標ごとの戦略的行動リスト案の改訂版を作成する	ERSWG 14	全メンバーからの協力を得て、オーストラリアが担当	5.1.7

DRAFT